

さいたま市墓地行政の基本方針(案) について

平成27年8月27日(木)
都市経営戦略会議 資料
保健福祉局 保健部
生活衛生課

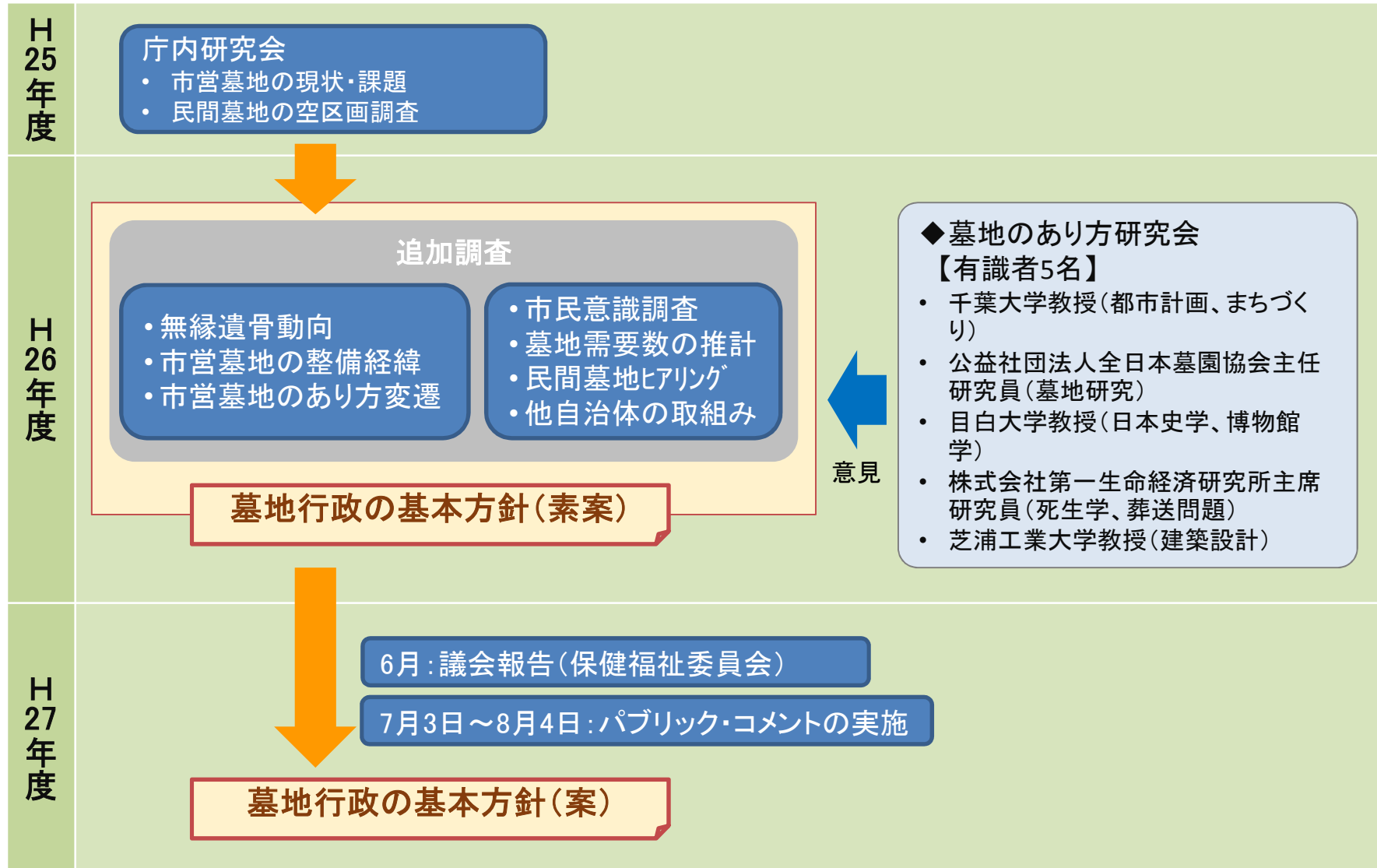
都市経営戦略会議における審議事項

◎ さいたま市墓地行政の基本方針(案)について

- 「さいたま市墓地行政」の基本方針
- 短期的取組
- 中長期的取組

上記について、(案)の方向性で進めてよろしいか伺います。

基本方針策定までの経過



基本方針(案)の構成概要

1. 基本方針策定の経緯

2. 市営墓地の現状

- 市営墓地の概要
- 過去の公募結果
- 市営墓地における利用許可取消及び消滅の対象となる墓地数の推移

3. 民間墓地の現状

- 過去15年間の整備状況と現在の空区画

4. 孤立死等による無縁遺骨の状況及び動向整理

- 無縁遺骨の埋蔵状況と埋蔵数の推移

5. 市民意識調査結果

- 墓地に関する市民意識調査結果[抜粋]

6. 墓地需要数の推計

- 今後20年間の墓地需要数を推計

7. 墓地行政の課題

- 1～6の現状と調査結果から、墓地行政が抱える課題を4つに整理

8. 今後の墓地行政の方針と取組

(1) 基本方針の整理

- 課題を踏まえ、今後の墓地のあり方について3つの方針に整理

(2) 市営墓地における短期的な取組

- 合葬式墓地の整備、無縁化墓地の改葬による循環利用、孤立死等の無縁遺骨への対策

(3) 市営墓地における中長期的な取組

- 短期的な取組の検証と墓地需要の見直しの実施、公園型墓地の整備に向けた検討

(参考) 他自治体における取組事例
(1) 樹林型(樹木型)墓地の整備
(2) 無縁化墓地の整理
(3) 墓地の無縁化防止対策

さいたま市墓地行政の基本方針(案)

1. 基本方針策定の経緯

- 市営墓地は平成24年度をもって新規の募集が終了し、今後は返還された墓地の再募集のみ。
- 超高齢社会に突入し墓地需要の増加が見込まれるなか、少子化・核家族化の進展、生涯未婚率の上昇など社会情勢の変化や、市民の墓地に対する考え方の変化等に対応することが求められている。
- 平成26年度に「さいたま市墓地行政のあり方研究会」を設置し、様々な角度から検討を行い、今後の墓地行政を総合的に展開していく際の基本的な考え方と、取組の方向性をまとめた基本方針を策定することとした。

2. 市営墓地の現状(1)

■ 市営墓地の概要

- 「思い出の里市営霊園」「青山苑墓地」「諏訪入墓地」「諏訪入第2墓地」「善前墓地」の5箇所、約24,000区画の市営墓地が整備されている。

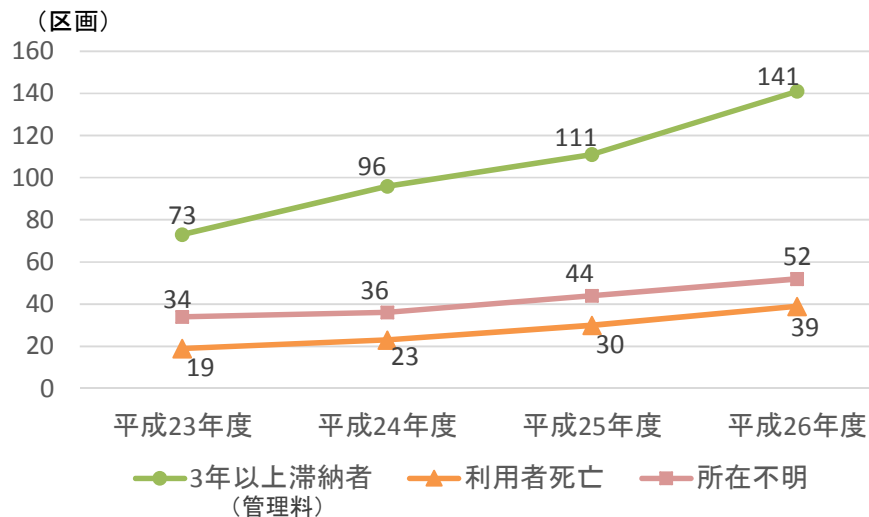
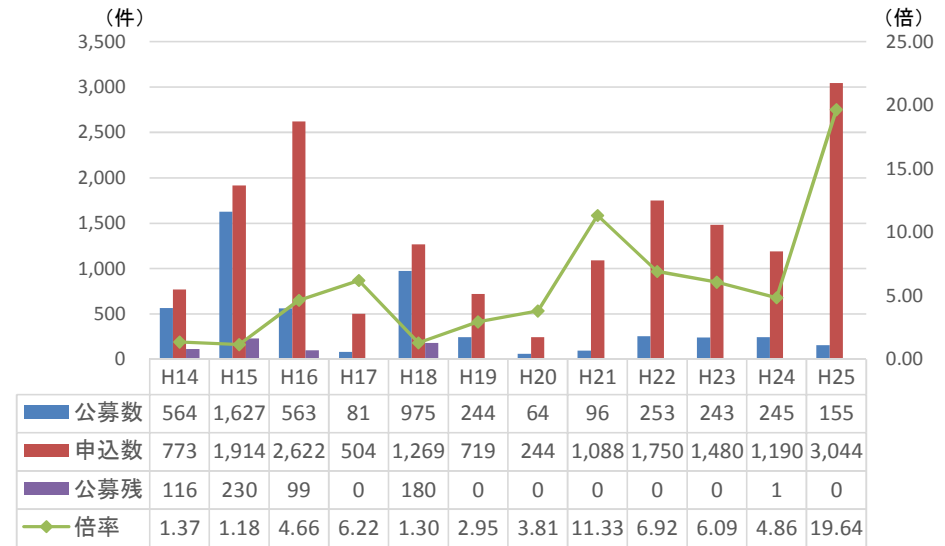
名 称	全区画数	備考
思い出の里市営霊園(昭和51年供用開始)	21,121	旧大宮市
青山苑墓地(平成2年供用開始)	1,623	旧浦和市
諏訪入墓地(昭和14年設置)	661	
諏訪入第2墓地(昭和57年設置)	126	
善前墓地(昭和22年設置)	514	

2. 市営墓地の現状(2)

■ 市営5墓地の公募結果

- 市営5墓地の公募の結果では、毎年公募数を申込数が上回っている。

※H25年度は返還された墓地の募集



■ 市営墓地における利用許可取消及び消滅の対象となる墓地数の推移

- 条例に基づく利用許可の取消し及び利用権の消滅の対象となる墓地数の推移は、年々増加傾向。

3. 民間墓地の現状

- 過去15年間（平成10～24年度）の市内における墓地の許可件数（新規及び区域変更含む）は69件、27,632区画
- 年間あたりの供給数は、平均すると約1,800区画

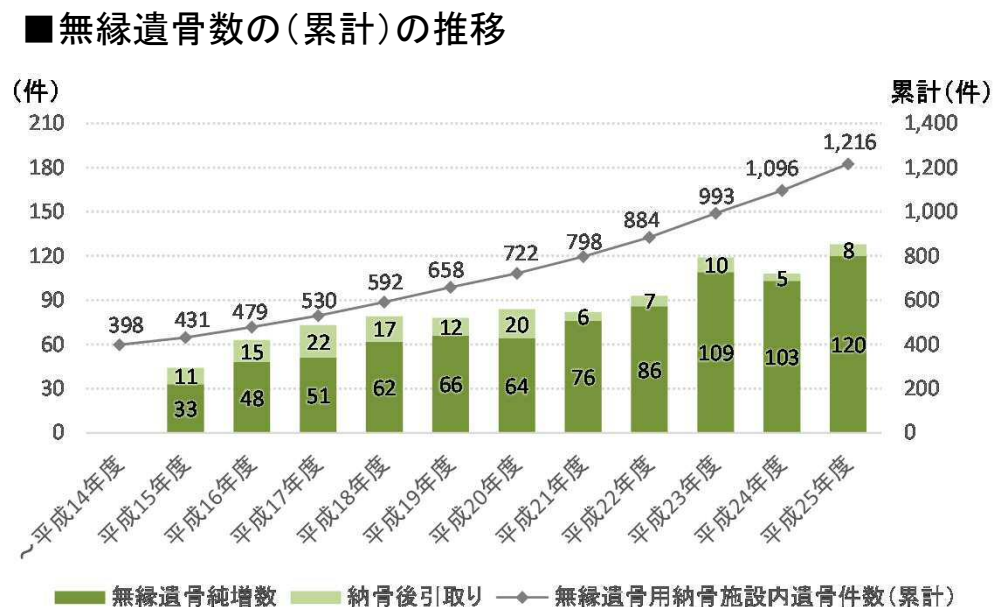
許可年度	計画区分		区画数
	新規	拡張等	
平成10～14年度	5	14	7,767
平成15～19年度	8	14	8,373
平成20～24年度	10	18	11,492
合計	23	46	27,632

- ↓
- 平成25年度に実施した空区画調査では、約7,500区画が空区画

調査対象施設数	事業型墓地	境内墓地	合計
38(うち5施設未回答)	約5,600	約1,900	約7,500

4. 孤立死等による無縁遺骨の状況及び動向整理

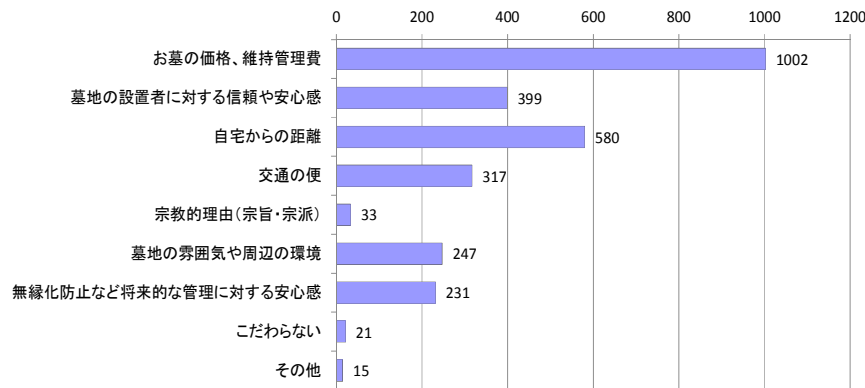
- 孤立死等が発生し、最終的に遺骨の引き取り手が無い場合は、無縁遺骨となり、専用の施設（以下「無縁遺骨用合葬施設」）へ埋蔵される。
- 純増数は、年々増加傾向にあり、近年では毎年100件以上で推移している。
- 無縁遺骨用合葬施設は、思い出の里市営霊園などに整備されているが、いずれも当初の予定数を超えている状況である。



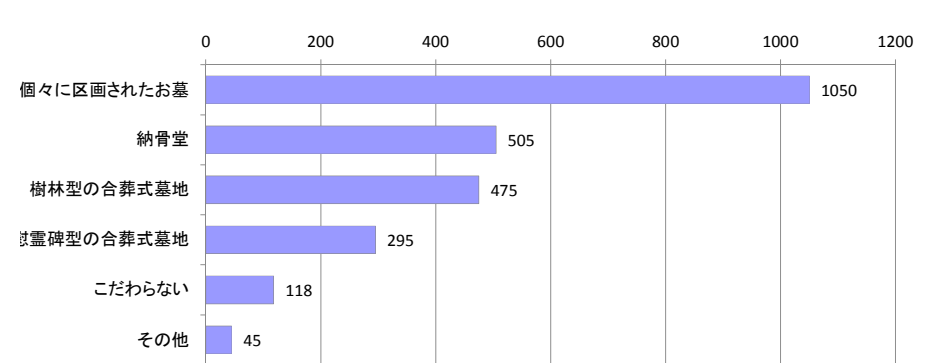
5. 市民意識調査結果(1)

- 市民が所有する墓地の状況や、今後の取得意向、墓地整備に対する考え方等を把握するため、市民を対象としたアンケート調査を実施した。調査の概要は以下のとおり。

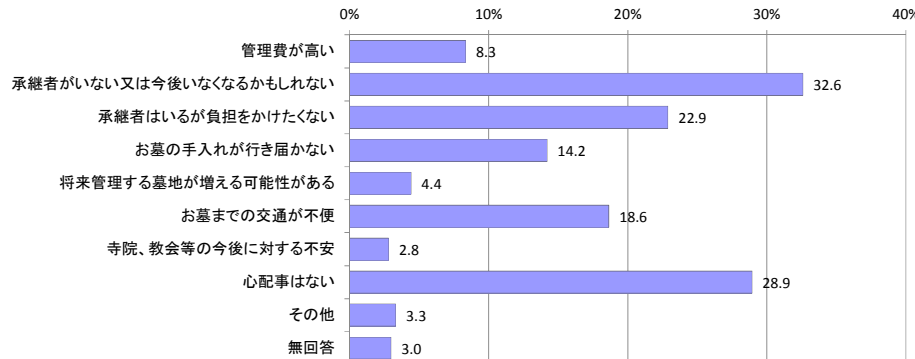
■ 墓地を取得する際に重視する事項 (N=501、複数回答)



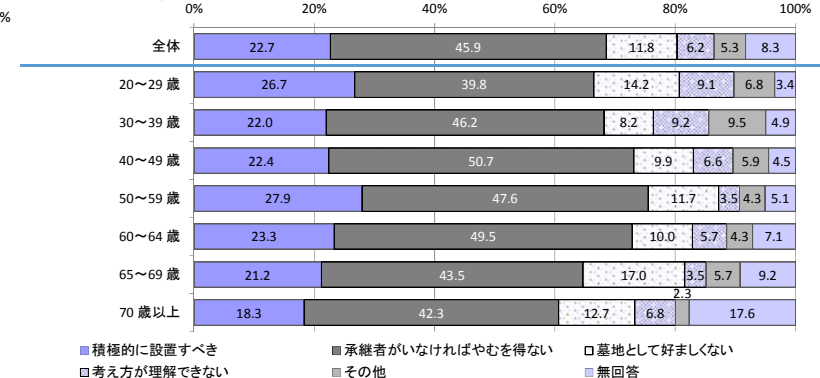
■ 取得したい墓地の形態 (N=501、複数回答)



■ 所有している墓地についての心配事 (N=1,175、複数回答)



■ 年齢別の樹林型合葬式墓地についての考え方 (N=2,227、単回答)



5. 市民意識調査結果(2)

■ 墓地を取得する際に重視する事項

- お墓の価格や維持管理費、自宅からの距離が上位となっている。

■ 取得したい墓地の形態

- 個々に区画されたお墓が最も高く、次いで納骨堂、樹林型の合葬式墓地となっている。

■ 所有している墓地についての心配事

- 心配事はないという市民もいるが、承継者がいない又は今後いなくなるかもしれない、承継者はいるが負担をかけたくないといった、お墓の承継についての不安を持っている人が多い結果であった。

■ 年齢別の樹林型合葬式墓地についての考え方

- 積極的に設置すべきとした人と承継者がいなければやむを得ないとした人を合わせて7割近い方が肯定的な意見であった。

6. 墓地需要数の推計

- 平成27年～平成46年までの墓地需要数の累計値は48,847件
- 1年あたり、平均して2,054～2,792件の間で需要が発生し続ける見込みとなっている。
- 基本方針を検討するための参考指標として、大阪府方式による墓地需要推計を実施した。

■大阪府方式による墓地需要数の推計

(計算式) 将来必要数 (A) = 推定死亡者数 × 墓地需要率 × 定住志向率

将来必要数 (B) = 推定死亡者数 × 傍系世帯率 × 定住志向率

墓地需要数 = { 将来必要数 (A) + 将来必要数 (B) } ÷ 2

年	推定死亡者数	墓地需要率	傍系世帯率	定住志向率	墓地必要数	年平均	累計
H27～31	55,955	0.225	0.367	0.62	10,269	2,054	10,269
H32～36	63,611				11,674	2,335	21,943
H37～41	70,539				12,945	2,589	34,888
H42～46	76,046				13,959	2,792	48,847

7. 墓地行政の課題

さいたま市の墓地行政が抱えている課題

1. 需要量・供給量に関する課題

- ① 墓地需要への対応
- ② 社会情勢に見合った適正な墓地供給

2. 墓地ニーズに関する課題

- ① 墓地ニーズの多様化
- ・合葬式墓地(樹林型)など新たな墓地形態へのニーズ

3. 墓地の無縁化に関する課題

- ① 市営墓地の無縁化
- ② 民間墓地の無縁化

4. 市営墓地に求められる役割の変化

- ① 人生の終末期における福祉的サービスの役割
- ② 誰もが親しめる緑豊かな公共空間としての活用

8. 今後の墓地行政の方針と取組

(1) 基本方針の整理

●基本方針1

墓地需要に対し、官民の役割分担による墓地供給を図ります。

- 市営墓地では、福祉的な視点からの墓地の供給及び墓地の公共空間としての活用を中心に進めていく。
- 民間墓地に対しては、引き続き市が適正な審査を実施し、これまで同様に墓地供給の中心的な役割を担うことを期待する。
- 将来的に市全体で供給過多にならないよう需給バランスに注視する。

●基本方針2

新たな墓地形態や利用方法を導入し、ニーズの変化に対応します。

- 社会情勢や家族形態の変化による、市民が求める墓地形態や利用方法の変化に、官民がニーズを捉え、対応していく。
- 新たなニーズに対応する使用期限を設けた墓地や合葬式墓地の供給は、市が先導的な役割を果たし、ニーズの高い個別に区画された墓地の供給は、民間墓地の協力を得ながら進めていく。

●基本方針3

墓地を適切に管理するため、無縁化防止に努め、循環利用を進めます。

- 市営墓地は、「受益者負担」の考え方が原則であることから、管理料の滞納は市民感情面の問題、公共財産の適正な利用、今後の墓地の維持管理・運営に影響を及ぼす。
- 民間墓地においても、管理料の滞納が経営面に影響を及ぼすだけでなく、追跡調査や維持管理等が負担となりつつあり、無縁化防止について官民を問わず取り組む必要がある。

(2) 市営墓地における短期的な取組

■ 短期的な取組

1 思い出の里市営霊園における合葬式墓地の整備

市営霊園内の空き地となっている場所の有効活用

2 無縁化墓地の改葬整理による循環利用の推進

- ①改葬整理に向けた無縁化墓地の判断基準と具体的な改葬手法の検討
- ②合葬式墓地を利用した無縁化墓地対策(循環利用など)
- ③期限付き墓地(個別に区画された墓地)の整備
- ④利用者要件の見直し

3 孤立死等の無縁遺骨への対策

- ①埋蔵方法の見直し
- ②発生数や費用を検証し、合葬施設整備についての検討

(3) 市営墓地における中長期的な取組

■ 中長期的な取組

1 墓地需要の見直し

- ① 短期的な取組の効果や、埼玉県及び民間墓地の供給状況を踏まえた墓地需要の検証。
- ② 社会情勢等を踏まえた見直し。



2 公園型墓地の整備に向けた検討

- ・ 「さいたま市公共施設マネジメント計画」の公共施設のあり方を考慮。
- ・ 都市計画やまちづくり、防災などの観点から進めていくことが必要。
- ・ 一定規模の土地が必要となるため、公有地や大規模公園計画など、全庁的に継続して情報交換を図る。